

我孫子市議会政務活動費収支報告書

令和 2 年 3 月 31 日

我孫子市議会議長 西 垣 一 郎 様

氏名 高木 宏樹 

我孫子市議会政務活動費の交付に関する条例第7条（第1項・第3項）の規定により、次のとおり令和元年度（12月分～3月分）政務活動費の収支を報告します。

1 収 入

政務活動費 100,000 円

2 支 出

(単位：円)

項 目	金 額	備 考
研究研修費		
調査旅費	797,146-	
資料作成費		
資料購入費	711,463-	
広 聴 費		
その他の経費		
合 計	7108,609-	

3 残 額 0 円

様式第2号

令和2年2月5日

我孫子市議会議長 様

議員名 高木 宏樹 

出張報告書



下記のとおり出張しましたので、その概要を報告します。

記

1 出張先 宮崎県延岡市 同県日向市

2 出張期間 令和2年1月28日 ~ 同2年1月29日

3 概要 別添のとおり

政務活動費	
議長	局長
	
決裁日 2年 2月 19日	

視察報告書

高木 宏樹

実施日:令和2年1月28日

視察先:宮崎県延岡市

視察目的:協働・共汗道づくり事業について

※延岡市 都市建設部 土木課よりご説明いただく

【事業について】

1、事業実施の背景

平成19年に市内の自治体より里道の横にある水路に蓋を掛けてほしいとの要望があったが、優先順位が低く早急に施工できないことを説明すると、自分たちで施工するので材料だけ支給してほしいとの話が上がり、市が原材料の支給・機材の手配をし、試験的に行ったところ成功したため、次年度より本事業を始めることにした。

2、事業概要

市民が普段利用している市道や里道等が地域の共有財産であるとの考えのもと、地域にお住いの市民のみなさんと市の協働と共汗により、身近にある市道の簡易な改良工事が行えるもので平成20年度から実施。具体的には、地域にある市道等で、自治会等の団体に簡易な道路舗装工事や、道路側溝の蓋掛工事等を対象に、必要な原材料や製品を提供し、併せて機械の器具等を貸し出し、地元の皆さんの労力提供を受け、市職員が技術支援を行いながら、共に汗を流しながら整備することを目指す。

3、事業費の推移 ※直近5年

平成27年度 8,960 千円(14 地区) 平成28年度 7,837 千円(16 地区)

平成29年度 7,924 千円(16 地区) 平成30年度 7,606 千円(29 地区)

令和元年度 8,070 千円(15 地区)※見込み

4、本事業のメリット

- ・地元の人たちが集まって施工することで、地域の団結力が図られる。
- ・自分たちで道を直接造ることで、道路に対する愛護意識の高揚が図れる。
- ・地元の自治会等が施工することから、市が行う工事等より早く安価に仕上げるができる。
- ・地元と行政との信頼関係や絆が築ける。

5、本事業のデメリット

- ・市の発注工事に比べ、品質管理、出来高管理、出来栄えが劣ることがある。
- ・地元負担を減らすため、書類は出来るだけ市のほうで作成するようにしているため、担当者の

事務量が増える。

・重機の運転・操作は、地元の有資格者にしてもらうため、有資格者が地元にはないと施工できないこともある。

・今後、地区住民の高齢化により、人員が集まらないなどで実施が困難な自治会が増加すると思われる。

【所感】

延岡市では市民の方から寄せられる声の中でも、日ごろから利用している身近な道路の整備・維持管理に関する要望は数多く寄せられているものの、限られた予算の中では、すべての要望に応えられない実情がありました。

そこで、地元住民の協力を得て、道路の整備や維持管理を行い、道路愛護精神の啓発と道路愛護活動を図ると共に、地元住民の生活基盤を豊かなものにしていくために、本事業を行っていました。

我孫子市も例外ではなく、厳しい予算状況の中で、市民との協働が今後ますます求められて行くことが予想される中で、先進事例として大変参考になりました。

視察報告書

高木 宏樹

実施日:令和2年1月29日

視察先:宮崎県日向市

視察目的:日向市駅周辺整備事業について

※延岡市 建設部 市街地整備課課よりご説明いただく

【事業について】

1、事業実施の背景

車社会の到来や消費者ニーズの変容、生活スタイルの変化、郊外型大型店舗の進出、地域内大型店舗の撤退など、様々な要因から中心市街地の変遷が進み、定住人口の減少、空き店舗の増加など、まちの賑わいが低下したことから、中心市街地の整備の必要性に迫られた。

2、事業概要

再整備にあたり、まちづくりの基幹事業として4つの事業を同時進行することにより、街のリニューアルを図り、「交流と連携」をキーワードに多様なソフト事業を展開し市民協働のまちづくりを目指す。

「4つの基幹事業」

- ①日向市駅周辺土地区画整理事業（施工者 日向市）
- ②日向地区連続立体交差事業（施工者 宮崎県）
- ③商業集積地域整備事業（地元商店街振興組合等）
- ④交流拠点施設整備事業（施工者 日向市）

3、本事業の特色

本事業の実施にあたり、「ひゅうが方式のまちづくり」を提唱し、市民と協働でまちづくりを進めた。中心市街地活性化の基本方針は「人が集い、人がふれあい、人が暮らす 市(いち)的にぎわいに満ちた都市空間の形成」とし、

- ①人が集い、人がふれあう、活気に満ちた生活文化交流空間づくり
- ②誰もが安心して暮らせる便利でコンパクトなまちづくり
- ③市民協働による持続可能なまちづくり

上記三点を目標にした。

4、「ひゅうが方式のまちづくり」とは

- ①産学官民連携による委員会方式のまちづくり

- ②市民との協働によるまちづくり
- ③木を活かしたまちづくり
- ④景観を誘導するまちづくり
- ⑤ひとを育てるまちづくり

4、事業効果

事業実施前と比較し、居住人口、通行量、イベント数、集客数、駅乗降客数、空き店舗率など軒並みその数が増えている。※別紙参照。

5、事業の今後

今後は、「まちは舞台、人が主役」をコンセプトに行政から市民へ「まちの運営」のシフトチェンジを行うとともに、更なる活性化にむけて日常的な賑わいの創出や若者・子育て世代が集う場の創出などを目指し、持続可能なコンパクトシティーを目指して行く。

【所感】

駅前の再整備事業は、各自治体が抱えている共通した課題ではありますが、日向市ではより市民と一体となって、再整備事業を進めてきた印象を受けました。事業前と事業後の変化が著しく、イベントの数や集客数などは、事業前では考えられないほどの伸びを見ることができました。

再整備事業に必要なのは、市民の理解と協働、そして一貫したコンセプトであると強く感じました。

政務活動費領収書等貼付用紙

議員名	年度	使途項目	整理番号
高木 宏樹	令和元年度	資料購入費	/ 枚目 / / 枚中

新聞購読料 領収証

高木 宏樹 様

ご購入ありがとうございます。
下記金額を正に領収いたしました。
2019年12月分

領収日 / 2月25日

領収金額 ¥3,821 ☆

品名	定価(税込)	部数	金額
聖教新聞※	1,934	1	1,934

その他購読料等 領収証

品名	定価(税込)	部数	金額
公明新聞※	1,887	1	1,887

※は軽減税率対象品目です。 (10%対象 0)
(8%対象 3,821)

販売店 荒井 龍平
住所 我孫子市若松138-7
TEL 04-7100-4925 FAX 04-7100-4926

お申込No. [Redacted]



新聞購読料 領収証

高木 宏樹 様

ご購入ありがとうございます。
下記金額を正に領収いたしました。
2020年1月分

領収日 / 2月28日

領収金額 ¥3,821

品名	定価(税込)	部数	金額
聖教新聞※	1,934	1	1,934

その他購読料等 領収証

品名	定価(税込)	部数	金額
公明新聞※	1,887	1	1,887

※は軽減税率対象品目です。 (10%対象 0)
(8%対象 3,821)

販売店 荒井 龍平
住所 我孫子市若松138-7
TEL 04-7100-4925 FAX 04-7100-4926

お申込No. [Redacted]-11



新聞購読料 領収証

高木 宏樹 様

ご購入ありがとうございます。
下記金額を正に領収いたしました。

領収日 / 2月27日

領収金額 ¥3,821

品名	定価(税込)	部数	金額
聖教新聞※	1,934	1	1,934

その他購読料等 領収証

品名	定価(税込)	部数	金額
公明新聞※	1,887	1	1,887

※は軽減税率対象品目です。 (10%対象 0)
(8%対象 3,821)

販売店 荒井 龍平
住所 我孫子市若松138-7
TEL 04-7100-4925 FAX 04-7100-4926

お申込No. [Redacted]-10

